



中丹

農業改良

第35号

普及センターだより



製茶工場の見学



茶刈り機による秋整枝作業の体験

茶業の魅力を発信！ 未来の担い手を育てる研修会を開催

茶業分野での人材を確保するため、茶農家として働くことを考える人への研修会を、のくに茶業青年団の協力を得て、夏から冬の3回シリーズで開催しました。参加者からは「茶の生産に携わりたい」と好評でした。



のくに茶業青年団と茶香服ちやかぶきで交流



京都府中丹広域振興局 農林商工部

中丹東農業改良普及センター

〒623-0012 綾部市川糸町丁畠10-2
TEL.0773-42-2255
e-mail:chushin-no-higashi-nokai@pref.kyoto.lg.jp

中丹西農業改良普及センター

〒620-0055 福知山市篠尾新町1-91
TEL.0773-22-4901
e-mail:chushin-no-nishi-nokai@pref.kyoto.lg.jp

発行

2026年
(令和8年)

中丹地域で取り組む普及活動の重点計画

令和6年度～8年度で取り組んでいる、
4つの重点計画について報告します

需要と環境に配慮した水田農業への支援



現地講習会で栽培のポイントを学ぶ

普及センターでは、①需要に応じた水稻栽培技術の定着、②基本技術の励行による小豆の収量確保、③環境にやさしい水稻栽培技術の確立、の3つをテーマとして活動しています。

令和7年は京都府オリジナル品種「京式部」、「京の輝き」等の生育状況を把握するために定点調査を実施し、調査結果を基に技術情報等を発行しました。小豆は講習会を通して気候に合わせた栽培管理の注意点を強調しました。

未来に繋ぐ京野菜産地づくり

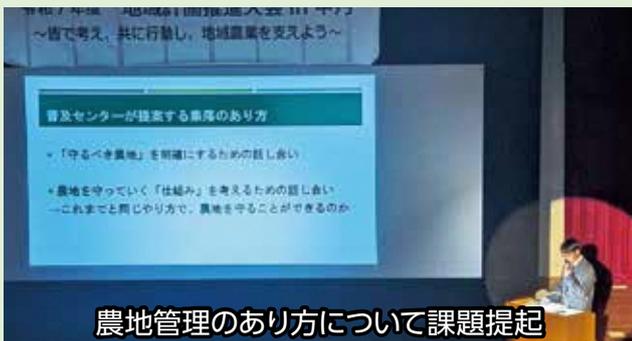


だっきょうき
紫ずきんの脱莢機の説明をする生産者

中丹管内の特産物である紫ずきんの収穫調製、機械化省力モデル実証に取り組んでいます。令和7年は、規模拡大や新品目導入を検討する生産者を対象に見学会を開催しました。

モデル農家が作業工程を実演し、機械利用のメリットを説明した後、活発な意見交換が行われました。

話し合いと実践による持続可能な地域づくり



農地管理のあり方について課題提起

中丹管内では、集落営農組織などの役員や機械オペレーターの後継者不足が問題となっています。

令和7年12月1日に開催した「地域計画推進大会in中丹」の中で、普及センターからは集落に求められる農地管理のあり方の課題提起を行いました。また、全体討議では、地域集落における担い手の受け入れ方法、地域集落の維持活動に活用できる資金をテーマとして、議論を深めました。

新たな農業従事者の確保～やってみよう中丹農業～



就農に向けた相談会

農業の担い手減少が続く中、多様な人材の農業・農村への参画が必要です。そのために、働き手を求める農業経営体などが、自己の経営内容や雇用情報等をPRする「農家情報シート」の作成を支援しています。

また、就農希望者に向けた「就農相談会in中丹」の開催により、担い手確保を目指しています。加えて、未来の農業者候補となる児童・生徒を対象にした農作業体験等の支援を行い、農業の魅力を伝えています。



コマツナの農作業体験指導を行う中西さん

地域で活躍する農業士

福知山市 中西 徹さん

13年前に福知山市三和町で就農しました。減農薬・土づくりなどにこだわり、品質の良いものを作るために日々試行錯誤をしています。

令和5年から近隣の小学校を対象に、普及センターと連携し、農作業体験を指導しています。子供たちがコマツナの収穫体験を行い、収穫したコマツナが学校給食で提供されます。これからも農作業体験を通して、食の大切さや農業の楽しさを伝えていきます。



万願寺甘とうの管理作業中の田中さん

「担い手養成実践農場研修」修了者に聞く(就農準備型)

舞鶴市 田中 豪さん

趣味のキャンプを通じて自然と触れ合う楽しさを知り、外で働くことに魅力を感じて就農を決意しました。令和6年1月から舞鶴市与保呂で、栽培技術指導者による指導を受けながら、万願寺甘とうの研修に取り組んできました。効率を重視し、収量だけでなく時間や経費のバランスを考えた安定経営を目指しています。

今後は他の作物にも挑戦し、年齢を重ねても楽しみながら農業を続けたいと考えています。

Topics



水田でのカメムシのすくい取り調査

水稲を守るため、斑点米カメムシ類を調査

近年の暖冬や高温の影響で、全国的にカメムシの発生が増え、米への被害が懸念されています。そこで、綾部市内でのすくい取り調査やLED防蛾・防虫灯を設置し、発生状況を調べました。

その結果、発生には地域差があり、イネカメムシが8月上旬のピーク時に令和6年比で約1.5倍に増加した地域が確認されました。今後は、得られたデータをもとに、効果的な防除暦の策定に取り組めます。



指導農業士が学生からの質問に答える

農大生が農業士の経営・栽培技術を学ぶ

中丹地域農業士会(29名)と京都府立農業大学校との共催で、学生が就農に必要な知識や情報を得ることを目的とした現地見学会を毎年開催しています。

令和7年10月30日、農業士と学生24名が舞鶴市、綾部市の農業士等4名を訪問し、製茶工場と茶園、万願寺甘とう、イチゴ、トマトの養液栽培を見学しました。昼食や交流会などを通じ、地域農業への理解と農業士との交流が深まりました。

普及センター掲示板

新しい農業士さんです

指導農業士 高橋孝明氏

綾部市の物部地域で施設野菜、露地野菜を中心に農業経営をおこなっております。高齢化や後継者不足、昨今の異常気象など、多くの課題を抱える業界ではありますが、長期的な成長戦略を描き、農業の魅力や価値を伝えることで、将来の農業を支えて参ります。



表彰式での舞鶴市茶生産者のみなさま

全国茶品評会かぶせ茶部門 農林水産大臣賞・産地賞受賞

奈良県で開催された第79回全国茶品評会かぶせ茶部門において、農林水産大臣賞を綾部市の(有)両丹いきいきファーム、産地賞を舞鶴市が受賞しました。中丹管内の茶産地が産地賞を受賞するのは4年連続、通算16回目となります。

伝承技能登録、 新たに4名が登録へ

中丹管内で新たに4名の方の技術が登録されました。

今後、次世代への伝承活動も含め、さらなる活躍を期待します。

氏名	技能名
福知山市 井上義和さん	紫ずきん、京夏ずきんの 高品質・安定生産
福知山市 和泉正行さん	肉用牛飼育（繁殖）
福知山市 土井孝さん	肉用牛飼育（繁殖）
舞鶴市 川崎芳彦さん	トリガイの育成技術

シートベルト着用 義務化



乗用車はいつから？
令和9年1月1日 からです。

どのトラクタが対象？
令和9年1月1日以降に製造された
座席を有するトラクタは、大型特殊自動車
・小型特殊自動車に限らず対象車となります。

農林水産省

農 作 業 安 全

シートベルトを締めましょう！

乗用型トラクタの転倒事故等による死亡・重傷リスクを減らすため、シートベルトを安全キャブ・フレームとセットで使うことが重要です。

普及センターだよりのバックナンバーをwebで閲覧

中丹東農業改良普及センターのウェブサイトで、平成16年発行の第1号から昨年発行の第34号までの普及センターだよりを閲覧できます。懐かしい記事もありますので、是非ご覧ください。



“農薬はラベルをよく見て、安全に使用しましょう”